

元生畜第1894号

令和2年3月23日

一般社団法人日本労働安全衛生コンサルタント会会長 殿

農林水産省生産局技術普及課長

畜産振興課長

令和2年春の農作業安全確認運動の実施について（補足）

このことについて、畜産分野においても、トラクターやホイロローダー等の農業機械作業により、死亡を含む深刻な事故が発生していることから、3月1日から実施されている本運動が畜産業の現場へ確実に浸透し、事故を減少させる取組の着実な実施が重要です。

また、死亡に至る事故こそ少ないものの、家畜に由来する事故の減少も重要であり、このためには、ヘルメット、安全靴及び手袋の着用が非常に有効であることから、(独)家畜改良センターの協力を得て、家畜由来の事故防止の留意点を別添のとおりまとめました。

ついては、別紙のとおり、関係者に通知しましたので、御了知いただくとともに、貴職より貴会会員各位に対し改めて協力を要請していただきますようお願いいたします。

# 別紙

元生畜第1894号  
令和2年3月23日

地方農政局生産部長  
北海道農政事務所生産経営産業部長  
内閣府沖縄総合事務局農林水産部長

殿

農林水産省生産局技術普及課長  
畜産振興課長

## 令和2年春の農作業安全確認運動の実施について（補足）

農林水産省では、「令和2年春の農作業安全確認運動の実施について（令和2年1月30日付元生産第1581号）」（以下「通知」という。）により、3年後の令和4年の農業機械作業に係る死亡者数の半減を目標に、「見直そう！農業機械作業の安全対策」を重点推進テーマとして、3月1日から春の農作業安全確認運動を実施しているところである。

畜産分野においても、トラクターやホイールローダー等の農業機械作業により、死亡を含む深刻な事故が発生していることから、本運動が畜産業の現場へ確実に浸透し、事故を減少させる取組が着実に実施されるよう、本運動の実施について管内各都道府県に改めて協力を要請するようお願いする。

また、死亡に至る事故こそ少ないものの、家畜に由来する事故の減少も重要であり、このためには、ヘルメット、安全靴及び手袋の着用が非常に有効であることから、（独）家畜改良センターの協力を得て、家畜由来の事故防止の留意点を別添のとおりまとめたので、管内各都道府県への周知をお願いする。

加えて、通知の1の（2）の②の（ア）において、農作業事故情報の収集を更に強化するとともに、事故分析情報を活かし農業現場での安全利用や農業機械の安全設計の促進を図るとしており、家畜に由来する事故を含めた農作業事故を減少させるためにも、「農作業事故の情報収集の強化に向けた要請について（平成29年1月4日付28生産第1512号）」に基づき都道府県から農林水産省に提供される農作業事故情報が重要な資料となる。このため、家畜に由来する事故を含めた農作業事故情報の提供について管内各都道府県に協力いただくよう改めて要請されたい。

# 家畜による事故の防止の取組

# 別添

○ ヘルメット・安全靴・手袋の着用や、作業手順の遵守（正しい保定方法の普及）等によって安全性を向上している事例がある。

## ヘルメット・安全靴・手袋の着用による安全対策

取組前

リスクのある条件

家畜を取り扱う場合、家畜の突発的な行動など避けられない危険性がある。



取組後

リスクを低減した条件

ヘルメット・安全靴・手袋といった個人用保護具を利用することで重大事故を防止。



## 作業手順の遵守による安全対策

取組前

リスクのある条件

採食中に掃除を行うという手順を守らない場合、家畜の関心をひき、突かれるといった危険性がある。



取組後

リスクを低減した条件

適切な作業手順を遵守することで安全性を向上。



## 対象家畜の適切な隔離や正しい保定の普及による安全対策

取組前

リスクのある条件

家畜を複数つないだ間に立ち、作業を行う場合、挟まれたり、作業していない家畜から蹴られる危険性がある。



取組後

リスクを低減した条件

家畜の密度を下げたり、作業する家畜を隔離し、個別の枠場で保定した上で、作業を行うことで安全性が向上。



## 家畜を驚かせない動作など家畜の取扱による安全対策

取組前

リスクのある条件

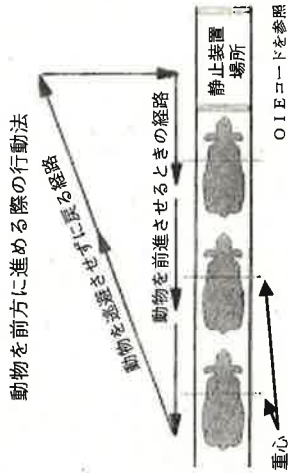
家畜は目前や死角(真後ろ)に立った場合、怯えから攻撃的になる場合がある。



取組後

リスクを低減した条件

行動パターンを理解した上で家畜に接することで安全性を向上。



OIEコードを参照